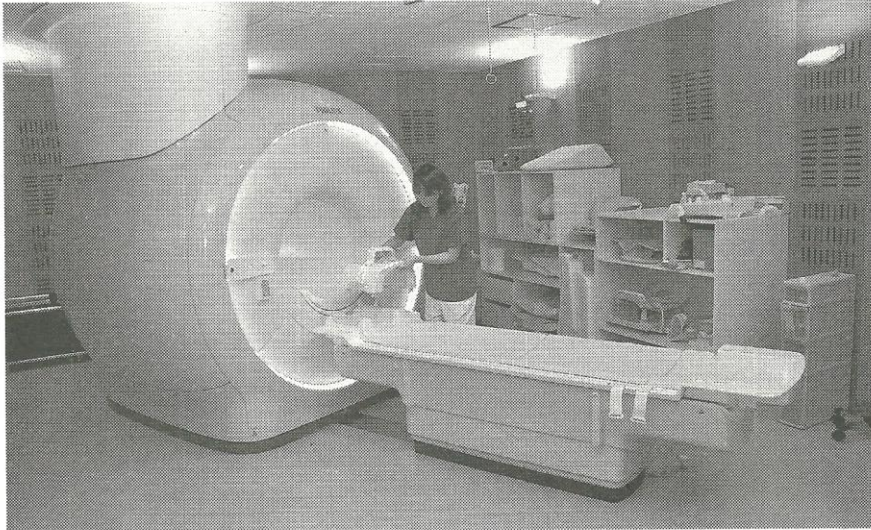


製鉄病院 脳ドック開始

西胆振唯一「3テスラMRI」使用



室蘭

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院（松木高雪病院長）は1日から、頭頸部の精密検査「脳ドック」を始めた。西胆振では唯一の装置となる、磁場強度が3テスラ（磁束密度の単位）の磁気共鳴画像装置（MRI）を用いるため、「より詳細な画像確認が可能」（同病院）という。頭頸部の画像を撮影・作成するMRIなどの基本検査のほか、認知症のスクリーニング検査がある「物忘れ検診」が追加できるコースを用意した。同病院では予約を受け付けている。

（松岡秀宜）

「物忘れ検診」コースも

脳梗塞や脳内出血、くも膜下出血などの病気は、早期の診断と治療が重要な。脳ドックでは、脳の断面画像や脳血管の撮影などで、頭頸部の異常の有無を検査。脳動脈瘤をはじめ頭頸部の血管が狭くなったり（狭窄）、塞がったり（閉塞）した状態などが見つかった際には経過観察や治療など

7月から「脳ドック」を始めた製鉄記念室蘭病院。3テスラのMRIを用いるため「より詳細な画像確認も可能」といふ。

次のステップに移る。

働き盛りとされる30、40歳代でも、ストレスや食習慣の乱れなどで、脳の病気や異常が見つかる人は増えているといふ。さらに、脳の病気は突発的に発生する一方、後遺症などで介護を必要とする場合も多い。

脳神経外科の林征志科長は「早めの検査で症状を未然に防ぐことが大事」と強調。予防医学の観点からも積極的な脳ドック受診を推奨する。

同病院では①3テスラMRIや磁気共鳴血管画

像装置（MRI）で頭頸部を調べる「基本検診」②頭頸部の検査に、タブラレット型コンピューターを用いた認知症のスクリーニング検査を追加した「物忘れ検診」③頭頸部の検査のほか、血液検査や尿検査なども行う「総合検診」の3コースを用意。検査時間は2時間ほど。脳神経外科専門医の総合診断は当日に行われる。

検査費用は、基本検診が2万5千円、物忘れ検診が2万6千円、総合検診が3万5千円（いずれも税別）。検査日は、毎週火曜と金曜（祝日を除く）の午後3時から。事前の予約が必要。

問い合わせ、申し込みは製鉄記念室蘭病院医事課脳ドック担当係、電話0143・44局4650番（月～金曜午前9時～午後5時）へ。